

### 第3学年 音楽科学習指導案

日 時 令和6年 9月10日(火)

第4校時 11:35~12:20

対 象 第3学年1組 31名

授業者 福原 奈那子

会 場 3階 音楽室

#### 1 題材名 せんりつのとくちょうをかんじとろう (教育芸術社)

#### 2 題材の目標

- (1) 音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりに気づき、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。
- (2) 旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについて考え、声の出し方を工夫したりフレーズを意識したりしながら、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。
- (3) 旋律の特徴や歌詞の内容を生かした表現を工夫しながら、友達と協働して表現する学習に主体的に取り組む。

#### 3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりに気づき、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌っている。	旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌い方を工夫し、どのように表現するかについての思いや意図をもっている。	旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりが生み出すよさや面白さへの興味・関心を持ち、それらの特徴を生かした歌い方の学習に進んで取り組もうとしている。

#### 4 指導観

##### (1) 題材観

本題材では、音の上がり下がりやフレーズなどの旋律の特徴、歌詞の内容と曲想との関わりを生かし、曲に合った声の出し方を模索していく。音楽を特徴付けている要素の一つである旋律に着目し、その特徴に気付いたり、その特徴によって生み出される曲想を感じ取ったりすることを大切にして学習を進めていく。

そのために、音楽に合わせた体の動きや楽譜上の音符の動きを手掛かりにして、旋律の特徴を見付けたり、歌詞の表す様子と聴き取った旋律との関わりを考えたりしながら、それらを生かした声の出し方を工夫し、表現につなげる。

さらに中学年では、呼吸及び発音の仕方に気を付けた自然で無理のない響きのある歌い方を学び、試して歌ってみることで、低学年で行っていた声の出し方や響き方が違うことに気付くようにする。

今回はペアやグループでの活動を取り入れ、歌声や歌い方を児童同士で聴き合う場を設定し、

自分の歌声や歌い方に対して課題意識をもったり、友達の表現のよさに気付いたりしながら、思いや意図に合った表現をするために必要な技能を身に付けられるようにする。

関連する学習指導要領における領域別目標は以下の通りである。

**【A表現】**

(1) 歌唱 ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ)

〈本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素〉

ア 音色, 旋律, 拍, フレーズ

(2) 児童観

今年度から音楽科を受けもっている。3年1組の児童は、明るく何事にも前向きに取り組むことのできる児童が多く、困っている友達がいると、優しく声をかけて手を差し伸べることができる。一方で、活動の最中に楽しくなりすぎて話を聞くことができない場面や、切り替えることができない場面がある。

音楽科の授業では、どの題材においても活動に主体的に取り組んでいる児童が多い。特に歌唱では、歌詞の表す様子を思い浮かべ、口形や音高を意識しながら楽しんで歌う姿が見られる。リコーダーの学習でも、息づかいや指づかい、タンギングに気を付けながら、粘り強く何度も練習に励む児童が多い。学級でも、音楽の学習に対して興味・関心をもつ児童が多く、学級で行った1学期の振り返りの活動では、「音楽をがんばった。」と回答する割合が高かった。帰りの会の際には、「今月の歌」を楽しみながら歌う姿も見られる。

しかし、旋律の特徴と曲想との関わりに気付き、それらを生かした声の出し方や表現の工夫をできる児童は少ない。1学期は、元気よく歌えるアップテンポの曲にたくさん取り組んでいたこともあって、曲想が全く違う曲を歌っても、変わらず元気よく地声で歌ってしまうなど、同じような表現の仕方のできる児童は少ない。1学期は、元気よく歌えるアップテンポの曲にたくさん取り組んでいたこともあって、曲想が全く違う曲を歌っても、変わらず元気よく地声で歌ってしまうなど、同じような表現の仕方になってしまうことが課題である。11月の音楽会では、児童の発達段階に応じた声の出し方や、曲想にふさわしい歌声で歌えることを目指したい。

そこで本題材では、旋律の特徴や歌詞の表す様子と曲想との関わりを考えながら、曲に合った声の出し方や表現を工夫したり、呼吸及び発音の仕方に気を付けた自然で無理のない響きのある歌い方を意識したりしながら、それらを生かした表現ができることを目指して学習を展開する。

(3) 教材観

「あの雲のように」 芙龍 明子 作詞 / 作曲者不明 / 飯沼 信善 編曲

- ・無理なく柔らかい声を出すことのできる音域でつくられており、歌いながら美しい声の響きを感じ取りやすく、ゆったりとした3拍子の拍にのって、レガートでのびのびとした歌声づくりができる。
- ・子どもたちにとっては、大空に浮かぶ雲を見上げて夢を膨らませる心情を表す歌詞と3拍子のゆるやかな順次進行の旋律から曲想を感じ取りやすくそれらを生かした表現の工夫がしやすい。レガートでゆったりとした3拍子の曲想を感じ取って表現するように学習を進めたい。

5 年間指導計画における位置付け（旋律の特徴に関する題材 全 22 時間）

第4学年 せんりつのとくちょうを感じ取ろう 8時間

第5学年 曲想の変化を感じ取ろう 6時間

第6学年 曲想の変化を楽しもう 5時間

6 題材の指導計画と評価計画（全3時間） ◎…本時のめあて

時	○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ T「教師の発問や価値付け」	知 技	思	態
<p>&lt;第一時のねらい&gt;旋律の特徴と曲想との関わりに気付き、旋律の動きを感じ取りながら歌う。</p>					
1	<p>・既習曲「うみ」を歌って口形や姿勢、息の流し方などの既習した歌い方を確認したり、ペアで体を動かして3拍子を感じ取ったりする。</p>	<p>◇息をしっかりと伸ばして吐ききることや、声を後ろから前に出す感覚を確かめられるようにする。</p>			
<p>◎「あの雲のように」の曲のかんじや、せんりつのとくちょうをつかもう。</p>					
	<p>○「あの雲のように」の旋律の特徴と曲想との関わりに気付く。</p> <p>・範唱を聴いて、曲想や旋律の特徴をつかむ。</p> <p>・曲想を話し合い、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想される児童の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なめらかな感じ</li> <li>・響いている感じ</li> <li>・明るい感じ</li> <li>・フワフワしている感じ</li> </ul> </div> <p>・旋律の特徴や気付いたことを話し合い、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想される児童の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音が伸びていたり、繋がったりしている</li> <li>・ずっと同じ旋律、あまり変化がない</li> <li>・音が高い</li> <li>・3拍子</li> </ul> </div>	<p>◇楽譜や歌詞は見せずに「あの雲のように」の範唱を聴かせる。3拍子の拍の流れにのって体を動かすように声を掛け、曲想を感じ取ることができるようにする。</p> <p>T「これから聴く曲がどんな感じがしたか、聴いた後に聞かせてください。体を揺らしたり、動かしたりして聴きましょう。」</p> <p>◇事前に組んでいるペアで意見交換するよう声を掛ける。</p>			
	<p>・旋律の特徴を確認したり歌詞を音読</p>	<p>◇拡大した楽譜を掲示し、階名は</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</div> 発言 ・ 記述	

	<p>したりして、旋律と曲想や歌詞の内容との関わりについて知る。</p> <p>○旋律の動きや、曲の気分を感じながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階名唱をしたり、音の動きに合わせて手を動かしたりして、旋律の特徴を感じ取りながら歌う。</li> <li>・歌詞とフレーズとの関わりを意識して歌う。</li> </ul> <p>・旋律の特徴や歌詞の内容と曲想との関わりを踏まえて、どのような歌声で歌いたいかをワークシートに記入したり、本時の内容を振り返ったりする。</p>	<p>記載しておく。旋律をつなぐ線を引き、音の動きが視覚的に分かるようにする。</p> <p>◇歌詞が表している景色や気分、想像した様子を問いかけ、曲想に合った歌声を思い浮かべられるようにする。</p> <p>◇児童の歌っている姿を録画し、第二時に鑑賞することで、これからどのような歌声で歌いたいかを確認できるようにする。</p>			
<p>&lt;第二時のねらい&gt; 曲想と旋律の特徴に合う歌声を工夫し、曲想や旋律の特徴を生かした歌い方で歌う。</p>					
<p>2 本 時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習曲「うみ」を、拍子を感じながら歌ったり、移調を繰り返して高い声で歌ったりする。</li> </ul> <p>○「あの雲のように」の曲想に合った歌声について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のワークシートから、児童がどのような歌声で歌いたいと考えているのか全体で確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎「あの雲のように」の曲のかんじに合った歌声を見つけよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の録画と範唱の歌声を聴き比べて違いを見付ける。</li> <li>・違いについて話し合い、発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強い</li> <li>・音が繋がっている感じがしない</li> <li>・切れている</li> </ul> </div> <p>○全体で共有した曲想に合う歌声を見</p>	<p>◇8小節までを繰り返し移調する。児童の歌声の変容を見取り、価値付ける。</p> <p>◇前時の児童の振り返りを教師が整理して、めあてを提示するようにする。</p> <p>◇ペアで相談し、友達と意見を伝え合い、違いやこれからできるようにしたいことを見付けられるようにする。</p>		<p>態 発 言 ・ 行 動 観 察</p>	<p>思</p>

	<p>付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習した歌い方を基に、発声の仕方や体の使い方をどのように工夫すると曲想に合った歌声で歌うことができるのか、グループで試したり考えたりする。</li> <li>グループごとにタブレットで自分たちの歌声を録画し、確認する。</li> <li>どのような工夫をしたか中間発表をする。</li> </ul>	<p>◇既習した歌のポイントや児童の振り返りから頑張りたいことをカードに書き出しおき、グループで頑張りたいことを選んで取り組めるようにする。カードにない工夫も記入できるようにしておく。</p> <p>◇録画したものを視聴することで、自分たちの変容を感じ取ったり、課題を見付けたりできるようにする。</p>		<p>発言 ・ 記述 ・ 演奏 聴取</p>	
	<p>予想される児童の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「優しい感じとなめらかな感じ」を出すために、息を優しく吐いて歌うようにした</li> <li>全体的に強くならないようにした</li> <li>音符の長さ通り、声をしっかりと伸ばした</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで試したことや、工夫したことを通してどのように歌声が変化したかななどをワークシートに記入する。</li> </ul>				
<p>第3時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習曲「うみ」を移調を繰り返して高い声で歌う。</li> </ul>	<p>◇8小節までを繰り返し移調する。児童の歌声の変容を見取り、価値付ける。</p>			
<p>第3時</p>	<p>◎「あの雲のように」の曲のかんじや、せんりつのとくちょうを生かして歌おう。</p>		<p>技 発言 ・ 記述 ・ 演奏</p>		
	<p>○「あの雲のように」曲想に合った歌声で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのグループの意見を取り入れながら、再度グループで曲想に合う歌い方を話し合ったり歌ったりする。</li> <li>グループごとに発表する。</li> <li>全員で曲想や旋律の特徴を生かした歌い方で歌う。</li> <li>第1時と本時の録画を聴き比べる。歌</li> </ul>	<p>◇前時のワークシートから、グループごとに試したことや工夫したことを掲示して、視覚的に確認できるようにする。</p> <p>◇発表の仕方を確認する。</p>			

<p>声の変容に気付き、気付いたことや学んだことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を、めあてに沿って振り返る。</li> </ul>	<p>◇学級全体で歌っている様子を録画し、第1時と聴き比べて歌声の違いを比較できるようにする。</p>	<p>聴取</p>		
--	---	-----------	--	--

## 7 手立て

### <視点1 課題を見だし、解決に向かう主体的な学び>

#### ①課題意識をもつことができる音楽との出会い

- ・旋律や歌詞の内容から思い浮かぶ風景や、想像できる様子などを考えさせる発問をし、どのような歌声で歌いたいかを児童から引き出すようにする。

#### ②見通しをもち粘り強く課題解決に向かう学び

- ・範唱を聴いてイメージを膨らませたり、録音した自分たちの歌声を聴いたりして、声の出し方を試行錯誤する中で変容していく様子を実感できるようにする。

### <視点2 考え方や感じ方を広げ、課題解決につなげる協働的な学びの実現>

#### ①気付きや考えを広げ深める学習活動

- ・ペアやグループで歌声を聴き合って、互いの良いところを見付けたり、これからできるようになりたいこと（めあて）や、課題を見付けたりする。
- ・グループの目指す歌声で歌えるように、グループで声の出し方を工夫したりフレーズを意識したりしながら歌い方を試行錯誤し、工夫したことを伝え合う。

#### ②児童の考えを引き出し、思考をつなぐ教師の働きかけ

- ・既習事項や、学習活動の中での児童の気付きを、板書や掲示物で共有する。

#### ①と②が連動しながら、つかんで広げて、生かしていく

### <視点3 学びをつなげて生かしていく、深い学びの実現>

#### ①学んだことを実感し次の学びに生かす「振り返り」

- ・子どもたちの振り返りを教師が整理することで、そこから課題を見付け、次のめあてを設定するようになる。

#### ②学びのつながりや生活とのつながりを考慮した年間指導計画

- ・自然で無理のない発声で歌うことを身に付け、自分たちの歌声に自信をもつことで、今後の表現活動に積極的に参加できる態度を培う。また、今年度は音楽会もあるため、行事での表現活動にも繋げていけるように年間計画に位置付けている。

8 本時の指導（全3時間中の第2時）

(1) 本時の目標

「曲想と旋律の特徴に合う歌声を見付ける。」

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点 配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習曲「うみ」を3拍子を感じながら歌ったり、移調して高い声で歌ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8小節までを繰り返し移調する。</li> <li>児童の歌声の変容を見取り、価値付ける。</li> <li>発問を通して既習した声の出し方を確認する。</li> <li>ペアで声の出し方を意識して歌えているか確認し合うよう声をかける。(1・2段目と3・4段目に分かれて聴き合う。)</li> </ul>	
展開 37分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あの雲のように」の曲想に合った歌声について考える。</li> <li>・「あの雲のように」の旋律の特徴や歌詞の内容、曲想を復習する。</li> <li>・前時のワークシートから、児童がどのような歌声で歌いたいと考えているのか全体で共有する。</li> </ul> <div data-bbox="225 1301 1155 1388" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「あの雲のように」の曲のかんじに合う歌声を見つけよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れを確認する。</li> <li>・児童一人一人の考えを集約した拡大用紙を掲示したり、それらを本時のめあてに繋げたりする。</li> <li>・ワークシートは事前に返却しておく。</li> <li>・めあてを確認する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の録画と範唱の歌声を聴き比べて違いを見付ける。</li> <li>・違いについて話し合い、発表する。</li> </ul> <div data-bbox="236 1588 746 1843" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される児童の発言(録画について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強い</li> <li>・音が繋がっている感じがしない</li> <li>・切れている</li> <li>・曲の感じが出ていない</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体で共有した曲想に合う歌声を見付ける。</li> <li>・既習した呼吸及び発音の仕方に気を付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に指導してあるペアで話し合うよう声をかける。</li> <li>・板書する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A, B, C 児童が均等になるように、6人ずつの5グループに分ける。</li> <li>・タブレットの扱いについて確認する。</li> <li>・譜面台にのせてある既習したヒントカ</li> </ul>	<p>ウ 発言内容、 行動観察</p> <p>イ 発言内容、 記述、 演奏聴取</p>

	<p>ながら、声の出し方をどのように工夫すると曲想に合った歌声で歌うことができるのか、グループで試したり考えたりする。</p> <p>□グループでの約束□</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一回は意見を言う。</li> <li>・工夫した声の出し方をお互いに聴き合い、どうだったか話し合う。</li> </ul> <p>(ヒントカードを参考にしても良い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーのタブレットでグループの歌声を録画して聴く。</li> <li>・グループごとにリーダーのタブレットで自分たちの歌声を録画し、確認する。</li> <li>・どのような工夫をしたか中間発表をする。</li> </ul>	<p>ード(口形や姿勢などを書いたもの)を参考にしたり、カードが無いもので試したことは、新しいカードに教師が記入したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音高が分からなくなった場合は、教師が冒頭の音を鳴らす。</li> <li>・範唱を聴きたい場合は、教師のタブレットで聴く。</li> <li>・基本は、音楽室で録音する。聴こえにくい場合のみ、図書室で録音も可とする。</li> <li>・演奏聴取していく中で、工夫の多い2つの班を取り上げる。</li> <li>・音楽室で自分のグループの場所で発表する。</li> </ul>	
<p>まとめ 3分</p>	<p>予想される児童の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「優しい感じとなめらかな感じ」を出すために、息を優しく吐いて歌うようにした</li> <li>・全体的に強くならないようにした</li> <li>・音符の長さ通り、声をしっかりと伸ばした</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を発表する。</li> <li>・グループで試したことや、工夫したことを通してどのように歌声が変化したかなどをワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の振り返りを価値付ける。</li> <li>・ワークシートを回収する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、各グループの工夫を取り入れるなど再度歌声について工夫したのち、グループごとに発表することや、1時と3時の歌声を聴き比べたりすることなどを伝え、学習に意欲をもたせられるよう指導する。</li> </ul>

(3)板書計画

<b>題材名</b>	せんりつのとくちょうをかんじとろう	グループで試したり 考えたりする時のやくそく
<b>めあて</b>	「あの雲のように」の曲のかんじに合う歌声を見つけよう。	
<b>じゆぎょうの流れ</b>	1, 「海」 2, 新しい曲 「あの雲のように」 ○1組の歌声とお手本のちがうところ ・強い ・音がつながっているかんじがしない ・切れている ・曲のかんじが出ていない	「あの雲のように」どんな歌声で歌いたい？ ・ゆったりとやさしいかんじ(名前) ・ひびきがあるように(同上) ・つよくならない(同上) ・ ・ ・

(4)ワークシート

## せんりつのとくちょうをかんじとろう

「あの雲のように」

3年 組 名前 \_\_\_\_\_

日付	学習のめあて	じこひょうか	ふりかえり
9 / ( )	「あの雲のように」の曲のかんじや、せんりつのとくちょうをつかもう。	☹️ 😐 😞	
「あの雲のように」をどんな歌声で歌いたいか書こう (例 ゆったりとやさしいかんじ)			
9 / ( )	「あの雲のように」の曲のかんじに合った歌声を見つけよう。	☹️ 😐 😞	
9 / ( )	「あの雲のように」の曲のかんじや、せんりつのとくちょうを生かして歌おう。	☹️ 😐 😞	

(5)本時の評価

- 歌声や歌い方を児童同士で聴き合う活動では、自分の歌声や歌い方に対して課題意識をもったり、友達の表現のよさに気付いたりしながら、児童一人一人がどのように表現するかについて思いや意図をもつことができていたか。
- ヒントカード(口形や姿勢などを書いたもの)を掲示したり、タブレットで歌声を録音したり範唱を聴いたりするなどの手立ては、グループで歌声を試行錯誤するにあたって適切であったか。